

学校関係者評価委員会報告書

一般社団法人 五常会
東北歯科技工専門学校
学校長 渡邊 奈美

一般社団法人五常会東北歯科技工専門学校は、令和元年度学校自己点検評価結果をふまえ、評価委員会を実施しました。下記にその内容を報告致します。

会議名：第1回評価委員会

日時：令和元年11月20日 19:00～20:30

会場：東北歯科技工専門学校

出席者：委員5名 事務局5名

委員	佐藤 誠（一般社団法人宮城県歯科技工士会会長）
委員	熊谷美恵子（一般社団法人宮城県歯科技工士会副会長）
委員	大久田秀逸（一般社団法人宮城県歯科技工士会専務理事）
委員	笠原 紳（薬師堂歯科院長・元東北大学歯学研究科）
委員	鈴木 宏明（日本平歯科医院院長）

事務局	渡邊 奈美（東北歯科技工専門学校学校長）
事務局	菅野 恭助（東北歯科技工専門学校副校長）
事務局	小松 勝（東北歯科技工専門学校副校長）
事務局	八巻 賢一（東北歯科技工専門学校教務部長）
事務局	神永 聡（東北歯科技工専門学校教務主任）

自己点検評価項目に対する評価

自己評価は、次の9項目について評価をして頂きました。

- (1) 教育理念・目標、(2) 学校運営、(3) 教育活動、(4) 教育成果
(5) 学生支援、(6) 教育環境、(7) 学生募集、(8) 社会貢献、(9) 法令等の遵守、(10) 財務

以下詳細については次の通りです。

(1) 教育理念・目標

教育理念・目標については、「高度な技術力の習得・プレゼンテーション能力の育成・本校の建学の精神である五常の精神に基づく豊かな人間性の育成」とし、学生に対しては、二年間に多くの知識、技能を取得させるためにIT

関連の CAD/CAM の講義や演習を行い、自己点検評価結果はほぼ適切で妥当であるとの意見が一致した。今後も、なお一層の努力をしてゆく方針である。

(2) 学校運営

事業計画・予算の策定を行い、理事会や運営会議（教職員会議）にて、学校運営の進捗状況、課題等を全教職員が把握できているようであった。情報公開が適切になされているかについては、ホームページに公開しているほか、父兄面談などの機会を設けて相談なども受けており、自己点検 評価結果はほぼ適切で妥当であるとの意見が一致した。今後も評価委員会において公開項目の検討をするなどの方針が決定した。

(3) 教育活動

教育課程および授業時限数、学則は、変更や追加などがある場合に、所管の宮城県に提出・承認の確認をしており、適切な学校運営を行っている。カリキュラム作成にあたっては、企業にとって即戦力になるような「仕事のできる歯科技工士」ということを目標に、関係企業の講師派遣などの協力を得ながら、できるだけ学生が実社会に旅立つ準備のできる内容を組んでおり、キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されている。

また、企業側が求める人材要件は「コミュニケーション」のできる人材の要望も強くなったことから、学外との関わる機会を増やすためにインターシップ（歯科医院見学、歯科技工所見学）に力を入れる。

最新の知識や技術に対する学生のニーズには、選択授業科目において様々な講師を招聘し、柔軟に対応している。

教員の指導力育成にあたっては、全国歯科技工士教育協議会等が開催する教員研修会、外部セミナー、研修会等への参加をさせて向上にあたる他、新任の教員採用にあたっては学歴や業務経験、人物など総合的な基準で採用している。

職業教育に対する外部関係者である、宮城県在住の歯科医師、宮城県歯科技工士会役員からの評価を取り入れているなど、自己点検評価結果はほぼ適切で妥当であるとの意見が一致した。

(4) 教育成果

就職担当教員が主になって担当し、担任とも連携して学生の就職指導を行っているが、学生の求人票閲覧や就職活動には、就職担当教員が相談にのりながら、できるだけ学生の要望や将来性を考慮して指導しているようであった。教育目標の最終達成地点は、歯科技工士国家試験の合格率 100 %、就職率 100 %であるが、ほぼ達成していることから、自己点検評価結果はほぼ適切で妥当であるとの意見が一致した。将来にわたりこれを維持できるようにより一層の努力をしてゆくことを要望された。

(5) 学生支援

メンタル面での問題を訴える学生が増加してということから、面談やカウンセリングが重要となってきた。災害発生時の対応などの指導あるいは経済的な支援が必要となった場合の指導など、学生を支援する対応策などの検討をおこなっていることから、自己点検評価結果はほぼ適切で妥当であるとの意見が一致した。

(6) 教育環境

2年という短期間での教育特性から学内のみの授業や実習だけではなく、学生個人の自宅での学習ができるように、アイパッド（ipad）に講義や実習内容をいれてあることは、学生にとって大変有意義であるという意見であった。以上のことから、自己点検評価結果はほぼ適切で妥当であるとの意見が一致した。

今後もCAD/CAMシステムの講義など時代のニーズにあったカリキュラム編成を行い実践的な実習を行っていくとの方針が決定した。

(7) 学生募集

入学希望者への情報提供として、「入学案内書」、「学生募集要項」などを配布して募集を行っている。また、学校見学会や学校説明会、体験入学などのイベントを数多く企画実施し、歯科技工士という仕事の内容を高校生諸君に対して進路検討機会を提供している。現在の情報取得の手段において、電子媒体の占める割合の多さと重要性からホームページの充実に力を注いでいるということから、自己点検評価結果はほぼ適切で妥当であるとの意見が一致した。

(8) 社会貢献

短期間で多くの科目を教授しなければならないということで、学外におけるボランティア活動などはなかなかできないのが実情であるが、仙台市歯科医師会、宮城県歯科技工士会、宮城県歯科衛生士会、歯科材料組合の団体おいてのボランティア活動に教職員が参加して、地域の老人ホームなどで義歯の清掃活動などに積極的に参加し、高評価を得ている。以上のことから自己点検評価結果はほぼ適切で妥当であるとの意見が一致した。

(9) 法令等の遵守

学校教育法の専修学校設置基準、歯科技工士学校養成所指定規則などによる設置や運営、教職員資格に関わる法令は遵守しており、財務報告と共に毎年5月には所管の宮城県の現況調査を受けており、自己点検評価結果はほぼ適切で妥当であるとの意見が一致した。

平成26年度は、ホームページにて「自己点検評価報告書」、「学校関係者評価委員会報告書」の情報公開を行った。

(10) 財務

急激な少子化の影響もあるのか入学者数の減少があり財政に潤沢な余裕がある状況ではないが予算、収支計画は法人理事会等で執行状況が管理され正当に税理士による会計監査報告書を提出し理事会に承認され適正な財務状況であると報告をし全員納得した。